



オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

バイナリーオプションとは

条件を「満たす」か「満たさないか」といったシンプルな予測から利益を得る取引のことを言います。

➤ 条件とは？

例：外国為替相場が本日午後 3 時に一定の水準よりも高くなる。

市場価格がどんなに高い又低い水準に達したかに関係なく、一定の条件を「満たす」か「満たさないか」が重要となります。

予測が正しかった場合にのみペイアウト金額を受け取ることができます。

仕組み

- オプションを購入する際、売り手へオプション料(購入金額)を支払います。
- 予測が正しかった場合、オプションの売り手はペイアウト金額を買い手へ支払う必要があります。
- 予測が外れた場合は、ペイアウト金額を受け取れません。
- いずれの場合にも、オプションの売り手は買い手が支払ったオプション料（購入金額）を受け取ります。

キーポイント

- **リスク限定**：オプション料（購入金額）を超えて損失が生じる可能性はありませんが、損失を限定するためのロスカットではありませんのでご注意ください。
- **短期取引**：特定の時間帯やイベントに集中して取引が可能。
- **取引価格**：投資金額の大きさにかかわらず可能な限り最善な価格を提示しています。
- **固定ペイアウト**：値動きの少ない相場でも、取引機会が多数あります。

バイナリーオプションタイプ

ラダー		タッチ		レンジ	
HIGH	LOW	TOUCH	NO-TOUCH	END-IN	END-OUT
				STAY-IN	BREAK-OUT

オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

ラダー

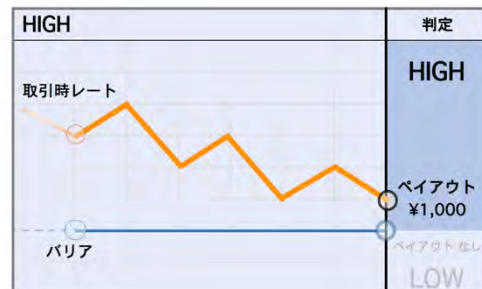
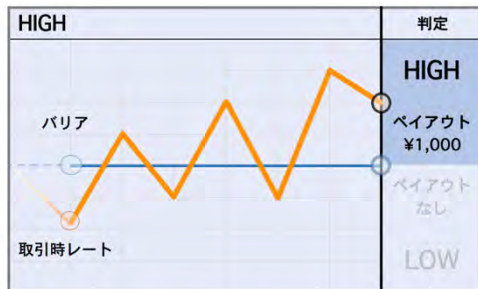
バイナリーオプションにおいて最も一般的な取引タイプです。原資産の市場価格が「バリア」と呼ばれる一定の水準を「超える」か「下回る」かを予測します。

「判定時刻」に予測が正しかった場合、オプションの買い手は売り手から予め定められたペイアウト金額を受け取ります。

HIGH

市場価格が上昇し、バリアを上回と思ったら、ラダー HIGH オプションを購入することができます。

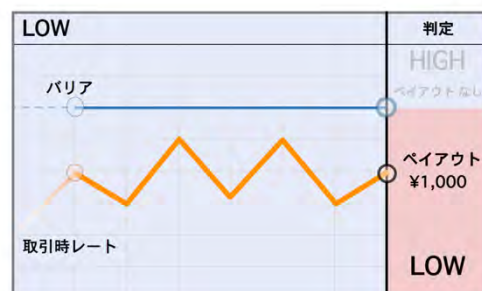
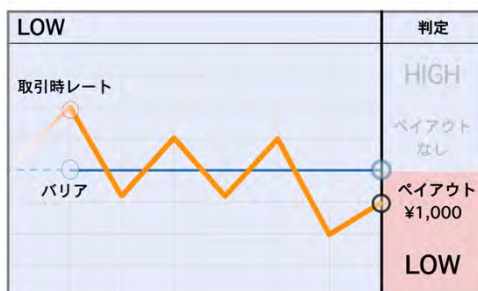
市場価格が**バリアを下回ることはない**と判断された場合にもこのオプションが適しています。



LOW

市場価格が下落し、判定時刻には**バリアを下回る**と考えるなら、ラダー LOW オプションを購入すると良いでしょう。

市場価格がバリアを**上回ることなく**、判定時刻にはバリアより下に留まると予想される場合にもラダー LOW オプションが適しています。



注意：ラダー HIGH オプションのペイアウト条件は市場価格がバリア**以上**である必要があります。

注意：ラダー LOW オプションのペイアウト条件は市場価格がバリア**未満**である必要があります。



オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

ラダー オプション

主な特徴

ラダー HIGH オプションはバイナリー
コールオプションとしても知られています。

ラダー LOW オプションはバイナリー
プットオプションとしても知られています。

ラダー オプションはヨーロピアンスタイル
のオプションのため、権利の行使は権利行使日
(満期日)のみです。

ラダー オプションは自動行使であり、
判定時刻に決済されます。

キーポイント

- あらゆる場合においても、購入金額はオプションの買い手に返金されることはありません。
- ラダー HIGH オプションのみ市場価格がバリアと同値であった場合に、ペイアウトが発生します。
- ラダー LOW オプションでは市場価格がバリア未満であった場合に、ペイアウトが発生します。
- オプションの売り手は買い手と正反対のポジションにあります。(下表参照)

支払/受取 サマリー	オプション料 (購入金額) 支払/受取	市場価格がバリア以上	市場価格がバリア未満
ラダー HIGH オプション 買い手	売り手へ支払い	売り手からペイアウト金額を 受け取る	ペイアウト金額受取りなし
ラダー HIGH オプション 売り手	買い手から受取り	買い手へペイアウト金額を 支払う	ペイアウト金額支払いなし
ラダー LOW オプション 買い手	売り手へ支払い	ペイアウト金額受取りなし	売り手からペイアウト金額を 受取る
ラダー LOW オプション 売り手	買い手から受取り	ペイアウト金額支払いなし	買い手へペイアウト金額を支払う

オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

タッチ

判定時刻までに原資産の市場価格がバリアに「TOUCH」または「NO-TOUCH」すればいつでも権利が行使されることを除けば、タッチオプションはラダーオプションに似ています。

タッチ オプションは現価格よりも高いまたは低いバリアが設定され、市場価格が設定されたバリアにタッチするか、しないかで決済されます。

TOUCH

i. 市場価格がバリアへ上昇



ii. 市場価格がバリアへ下降

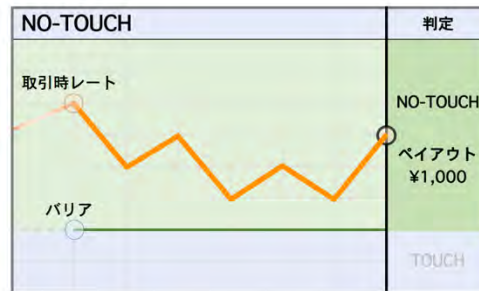


NO-TOUCH

i. 市場価格がバリアまで上昇しない



ii. 市場価格がバリアまで下降しない



注意： **TOUCH** オプションのペイアウト条件はバリア以上または以下に達する必要があります。

注意： **NO-TOUCH** オプションのペイアウト条件はバリアに達することなく常にバリア未満または超えてないことが条件です。



オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

タッチ オプション

主な特性

タッチ オプションはアメリカスタイル
のオプションのため、権利の行使は取引
期間中いつでも可能です。

タッチ オプションは自動行使であり、
バリアへ達するとすぐに決済されます。

キーポイント

- TOUCH オプションは、取引期間が終了までに市場価格がバリアにタッチしなければなりません。
- オプションがバリアに達したと判定されたら、売り手は TOUCH オプションの買い手にペイアウトを支払います。買い手は判定時刻を待たずにペイアウトを受け取ることができます。
- 取引期間終了までに市場価格がバリアに達しなかった場合、TOUCH オプションの買い手へペイアウトが支払われることはありません。
- 取引期間終了までに市場価格がバリアに達しなかった場合、NO-TOUCH オプションの買い手は売り手からペイアウト金額を受け取ることができます。
- NO-TOUCH オプションの購入は同じバリア価格を有する TOUCH オプションの売却取引により作り出されたポジションと同じになります。

オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

レンジ

レンジ オプションには 2つのバリアが存在します。2つの上限と下限バリアの間の価格をレンジと言います。

レンジ オプションの買い手は、原資産の市場価格がどのように定められた2つの上限と下限バリアに対して動くかを予測する必要があります。

- 2つの上限と下限バリア間で終了するか、それとも外で終了するか
- 判定時刻までに市場価格がレンジ内に終始留まるか、それともレンジから外へ出るか

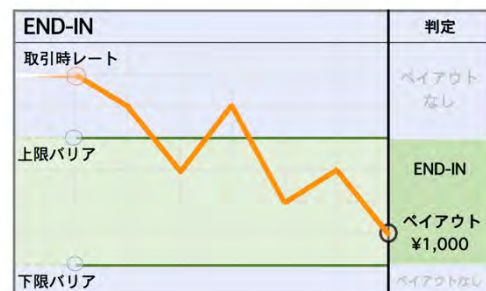
END-IN

原資産の市場価格が判定時刻に2つの上限と下限バリア間で終了すると予測した場合、判定レートが上限バリア未満かつ下限バリア以上なら **END-IN** レンジ バイナリーオプションで利益を得られるかもしれません。

予測が的中した場合、判定時刻にオプションの売り手からペイアウト金額を受け取ります。予測が外れると、ペイアウトを受け取ることはできません。

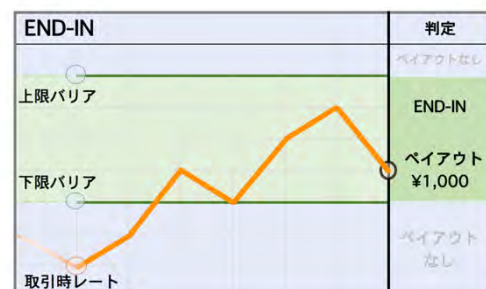
いずれの場合においても、売り手がオプション料（購入金額）を返金することはありません。

- 現在価格よりも高いバリアと低いバリアを選択し、判定時刻までの動きが少なくと予測
- 市場価格が判定時刻に特定のレンジ内に上昇または下降すると予測し、レンジを選択



注意： **END-IN** オプションのペイアウト条件は判定時刻に市場価格が上限バリア **未満**である必要があります。

注意： **END-IN** オプションのペイアウト条件は判定時刻に市場価格が下限バリア **以上**である必要があります。



オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

END-OUT

END-OUT オプションは市場価格が激しく動くが、方向が定かではない場合に利用できます。市場価格がレンジ外で終了すると予測した場合、判定レートが上限バリア以上、下限バリア未満になる必要があります。

この場合、市場価格の動向は関係なく下記のいずれかの状態でペイアウト金額を受け取ることができます。



注意： **END-OUT** オプションのペイアウト条件は判定時刻に市場価格が上限バリア**以上**である必要があります。



注意： **END-OUT** オプションのペイアウト条件は下限バリア**未満**である必要があります。

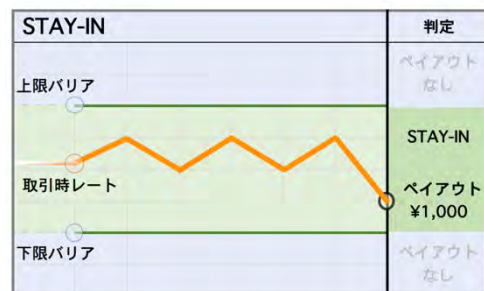
STAY-IN

取引期間中、原資産の市場価格が2つの上限と下限バリア内に留まると予測するならば、**STAY-IN** レンジバイナリーオプションで利益を得られるかもしれません。

判定時刻に予測が的中すると、オプションの売り手からペイアウト金額を受け取ることができます。予想がはずれるとペイアウト金額は受け取れません。

いずれの場合においても、売り手がオプション料（購入金額）を返金することはありません。

このオプションの買い手は、判定時刻までの取引期間内に上限バリアまたは下限バリアに達することはなく、市場価格が常にレンジ内に留まると予測することになります。



注意： **STAY-IN** オプションのペイアウトは市場価格が上限と下限バリアと**同値**にならない、または上限と下限バリアを**通過**しないことが条件となります。上限と下限バリアと同値になった時点で、オプションのペイアウトは発生しません。

オプション取引の基本知識について

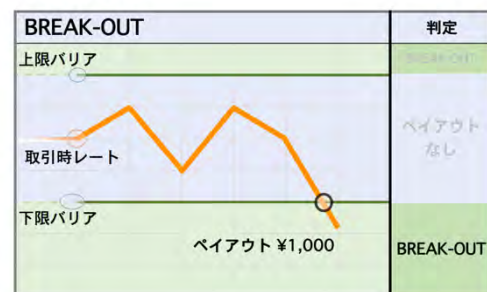
バイナリーオプションの概要

BREAK-OUT

STAY-IN オプションとは逆のポジションですが、オプションの買い手は上限バリアまたは下限バリアのどちらかに達するか、通過した時点でペイアウトを受け取ることができます。この場合、レンジから Break-Out するといいます。

i. **上限バリア**:市場価格が上限バリアに達するまたは通過する

ii. **下限バリア**:市場価格が下限バリアに達するまたは通過する



注意 : BREAK-OUT オプションのペイアウト条件は市場価格が上限と下限バリアと**同値**になるか、上限と下限バリアを**通過**する必要があります。

レンジ オプション

主な特徴

レンジ END-IN と END-OUT オプションはヨーロッパスタイルのオプションであるため、権利行使は権利行使日（満期日）のみです。

レンジ STAY-IN と BREAK-OUT オプションはアメリカスタイルのオプションであるため、権利行使は取引期間中いつでも可能です。

レンジ END-IN と END-OUT オプションは自動行使であり、判定時刻に決済されます。

レンジ STAY-IN と BREAK-OUT オプションは自動行使であり、上限と下限バリアに達したらすぐに決済されます。



オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

キーポイント

- レンジオプションは2つの上限と下限バリアを有するのでより複雑なバイナリーオプションタイプといえます。
- 2つの権利行使タイプ（ヨーロピアンタイプとアメリカンタイプ）から選択が可能です。
- END-OUT オプションは 判定時刻の時点で、判定レートが上限バリア以上もしくは下限バリア未満の場合にペイアウトが発生します。
- END-IN オプションは判定時刻の時点で、判定レートが上限バリア未満かつ下限バリア以上の場合にペイアウトが発生します。
- BREAK-OUT オプションは取引期間中に市場価格が上限バリア以上もしくは下限バリア以下になった場合にペイアウトが発生します。
- BREAK-OUT オプションは市場価格がいずれかの上限と下限バリアを BREAK-OUT した場合、判定時刻前であってもその時点で決済されます。
- STAY-IN オプションは取引期間中の市場価格が上限バリア未満かつ下限バリア超を維持した場合にペイアウトが発生します。

バイナリーオプションのメリット

限定された損失額 買い手の最大損失はオプション購入額のみ。売り手は、支払ったペイアウト金額から受け取ったオプション料を差し引いた金額が損失となります。	少額から投資が可能 バイナリーオプションはその他投資商品に比べてかなり少額の投資金額で取引が可能です。	自動決済 オプションの売り手に権利行使の通知はなく、取引決済はすべて自動のため、決済期限の遅延等のリスクはありません。
明確なペイアウト条件 バイナリーオプション取引はペイアウト金額を受け取るか0かのどちらかです。	売却取引の機会 取引期間内に売却取引を利用して、取引価格の利益確定またはロスカットを行うことができます。	高いボラティリティは必要ありません 比較的少ない値動の相場でも利益を上げることが可能です。
規制されている取引 金融商品取引法によって規制されています。	価格の透明性 金融取引業者は公平性を確保するため、2ウェイ・プライスを表示する必要があります。	資金区分管理 お客さまの資産は法令等に基づき全額信託保全されています。



オプション取引の基本知識について

バイナリーオプションの概要

バイナリーオプションのリスク

<u>100%の損失リスク</u>	<u>売却損失リスク</u>	<u>知識リスク</u>
ペイアウトは0になり、オプション購入額を失うことになります。	購入価格と売却価格の間にスプレッド（価格差）があります。売却価格にはスプレッドが含まれているため、売却取引により最終的に損失になる可能性があります。	複雑な金融商品のためよく理解しないで取引をすると損失を招く恐れがあります。



平成28年12月9日制定